

## ともの家 事業報告

### ○全体を通して

4月に25周年記念行事「いのち 未来に向かって」を多くの皆さまのご協力の下、盛大に執り行うことが出来ました。開設時より支援して頂いた皆さまへの感謝の思いを、清水フィルハーモニー管弦楽団の演奏をバックに歌声として届けました。仲間たちの満面の笑みはとても幸せそうでした。私たち職員は、歩んできた道を振り返り懐かしい思いに浸りながらも、未来にどう向かうべきか、その答えを導き出せたような気がしています。

仲間を主人公に、ともに歩む私たち職員や保護者、そして関係者みんなが幸せな人生を歩めるように・・・それが設立時から変わる事のないねがいです。

### ○管理部門の育成

設立当時より勤務している職員がいない状況ですが、「ともらしき」を失わないこと事を大切に引き継いできました。先にも述べた、25周年記念行事への参加は、どんな言葉で伝えるより、心で感じる事の出来た大きな経験でした。実践の場では得る事の出来ない経験は、「ともの家」を取り巻く環境の重みとともに、将来構想を思い描くきっかけになりました。26年度末で管理部門を担っていた職員の退職も重なり、職員の意識の変化は感じていますが、経営管理を担う職員体制づくりには至りませんでした。次年度への大きな課題です。

### ○グループホーム「とも」の増築

緊急的に宿泊したい仲間の受け入れの為、常時空部屋をひと部屋作りしました。緊急的ではなく、常時(月～金)まで、5名の仲間が1週間に一度の宿泊をエンジョイしています。

将来は5名から6名への定員増も想定しています 自己負担費用 2,223,943 円

### ○グループホーム「とも」「SUN」のスプリンクラー設置

10年後には面積基準なしの設置義務化が想定されているため、国・静岡市からの補助金を頂ける間という理由で、設置に踏み切りました

自己負担費用 4,387,247 円 静岡市補助金額 6,763,000 円

### ○授産事業

「畑」

畑担当の仲間2名職員1名を固定化し作業をおこなってきました。荒れ地の開墾からでしたが、保護者の協力も経て、石拾いや草取り、栄養のある土づくり

を行っていました。他の作業も忙しく、思いのほか関わる事が出来ませんでした。草取り、水掛け、野菜の収穫、石拾い、人参や大根・ブロッコリーの収穫等、協力できるところは行いました。

生活介護の仲間たちは、ウォーキングにはちょうど良い距離（徒歩 15 分）で、バケツ片手に歩く姿が様になってきました。

#### 「製菓作業」

授産収益 2,200 万円で前年度並みでした。

毎年の事ですが 10 月から 1 月末までの忙しさは尋常ではなく、朝早くから夕方遅くまで職員だけで作業する日々が続きました。ここ 2、3 年は改善方法を調べては試行を繰り返し行ってきましたが、打開策には至りませんでした。事業計画に具体的に盛り込まれていませんでしたが、10 月に見つけた「ともの家」近隣の土地を購入、27 年度秋には工場を開所（就労継続 B 型事業所を分離）現在の売り上げを継続し、なおかつ職員の負担軽減、仲間の作業効率アップ（工賃アップ）に繋げてく予定です。

#### ○グループホーム 365 日開所

10 月以降、1 か月に 1 度土日連泊（2 週間帰省なし）を開始しました。

仲間への状態に変化なく、休日活動の楽しみが増えています。休日支援に入る職員体制が整わず、苦労はしていますが、365 日開所によりややく半歩進めました。

#### ○居宅支援事業（ヘルパー派遣）と相談事業の設置

進めることはできませんでした。次年度持越しです。